

森の風



帯広市立森の里小学校
学校だより

平成30年6月21日

第 10 号

～学校と家庭と地域を結ぶ通信～

話し合いが少しずつ上手になってきました

子ども達が自ら考え、友達と考えを深めていけるような授業づくりに、先生方は日々努めています。その成果が少しずつ表れてきています。グループでの話し合いの進め方や説明の仕方など、これからも学校として共通した取組を進めていき、さらに子ども達の学習意欲を高めていきたいと考えています。7月の参観日では、そのような視点で観ていただければと思います。



『いじめアンケート』 をとりました

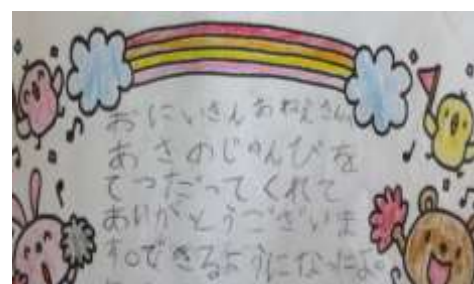
今年、『北海道いじめ防止基本方針』が変わり、それを受けて本校の基本方針も見直しました。（新しい基本方針は本校のHPに掲載されていますのでご覧ください。）

さて、毎年3回行っている「いじめアンケート」ですが、今年度の第1回目を先日行いました。「ことし4月から今日まで、嫌な思いをしたことがありますか。」の問いに対して、「ある。」と答えた子ども達一人一人から、担任が話を聞きました。その上で、今回は「いじめに該当するものはなかった」と判断しました。

今後も引き続き、子ども達が安心して学校生活を送ることができるよう、家庭と連携していきたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。なお、ご心配なことがありましたら小さなことでも学校にお知らせください。

1年生から6年生に「ありがとう」メッセージ

入学してからたくさんお世話になっている6年生に、1年生からメッセージが届きました。1年生一人一人のメッセージを読んでいると、6年生の優しさがよく伝わってきます。（6年生のグリーンスペースに掲示中）



5年生宿泊学習

普段の学校では学べないことを、この宿泊学習で経験することが出来ます。五年生の子供も達は、気持ちのよい返事やあいさつなども心がけながら、とても立派に取り組んでいました。



ベッドメイキングは友達と協力。悪戦苦闘しながらも、なんだか楽しそうでした。

宿泊学習はよく修学旅行の練習とも言われます。来年の修学旅行が楽しみに感じられた二日間でした。



アツアツのお味噌汁は二人で慎重に配っていました。



唐揚げにスパゲティー、みんなで食べると一段とおいしい！

もしも我が子が

最近の報道にもありますように、全国的に小学生や中学生が自転車事故の被害者や加害者となるケースが散見されるようになってきています。自転車は、子どもから大人まで幅広く利用できる便利なものである反面、事故の危険性もあります。事故の状況によって加害者となった場合には、事故の程度により、被害者へ治療費等を補償するケースも考えられます。ご家庭においては、万が一に備えて任意保険への加入の検討も必要かもしれませんね。

また、道路交通法の改正により、13歳未満のヘルメット着用の努力義務が保護者に求められています。併せてご検討ください。



歯科検診が終わって～歯医者さんの言葉～

先日、歯科検診がありました。検診が終わってから歯医者さんにお話を伺いました。

<全体的な傾向>

- ・虫歯は減っているが、歯肉炎が増えている。
- ・最近の子どもはあごが小さい。あごが小さいと歯がきれいに並びきれない心配がある。噛みごたえのある食事が少ないのも一つの原因。よく噛んで食べる習慣を大切に。
- ・低学年のうち、親が子どもの歯磨きを気にして見てあげるののできれいに磨けているが、学年が上がり子ども任せになってしまうと磨き切れていない子が増える。



80歳になっても20本以上自分の歯を保とうという『8020(ハチマルニマル)運動』があります。高齢になっても、自分の歯でおいしく食べることが健康の秘訣。そのためにも、子どもの頃から、日頃の歯のお手入れと生活習慣を大切にしたいものです。